

この訴訟は、多くの賛同と 支えが必要です!!

グリーンコープ共同体 代表理事
(一社)グリーンコープでんき 会長 **熊野 千恵美**

組合員検討の積み重ねと、訴訟検討チームのご尽力により、提訴を行うことができ、一步を踏み出しました!なぜ、二つの負担金の託送料金への上乗せが経産省令で行えるのか?社会に問う訴訟です。原発を擁護する仕組みではないかについても一緒に知って考えていきたいと思いますという呼びかけです。ぜひご賛同をお願いします!

あたりまえが通じる 社会をめざして

グリーンコープ生協おかやま 理事長 **飯村 美智子**

私はひとりの避難者としても、この訴訟を支持しています。被害を受け続けている被災者、あたりまえが通じる社会を望む人を、本当の意味で励まし支えるのは「この国にも誠実に向き合ってくれる人たちがいる」ということ。「託送料金訴訟を支える会」には、そんなメッセージを伝える力があると思っています。

福島復興や廃炉のための 費用を出すことは厭いません。

グリーンコープ生協ふくおか 理事長 **三原 幸子**

どんな理由があっても原発を動かし続けるのはとても危険です。託送料金訴訟は、原発を温存しようとしている国の在り方を問うものです。原発事故によって、未だに故郷へ帰れず、子どもの健康を心配し続けるお母さんたちがいます。原発、復興について国民皆で考えていくための裁判の行方に注目ください。

未来の子どもたちのための 託送料金の仕組みづくりを!

グリーンコープかごしま生協 理事長 **亀崎 恵理子**

事故の賠償費用や廃炉費用は、本来その原発事業者が準備しておくものです。提訴日に、弁護士が「例えば、原価200円の魚を100円で売り、後から100円支払わせるようなもの。これが常識で通用するのか」と説明しました。省令で国民に負担を強いることは納得できません。「支える会」の会員になって、共に学び広めていきましょう。

一人ひとりの小さな波を 大きなうねりへ!

グリーンコープ生協(島根) 理事長 **吉田 由佳**

検討していく中で分からないことばかりの託送料金のことを、みんなで知って、みんなで考えていきたい!グリーンコープで生まれた思いをより広くより遠くに届くように、皆さん、一緒に支えていきましょう。



グリーンコープ各生協の 理事長からの呼びかけメッセージ!

“おかしい”と思うことを そのままにしないための訴訟です!

グリーンコープ生協ひょうご 理事長 **清水 園子**

国民に何の説明もせず経産省令だけで、託送料金に上乗せして原発の賠償金や廃炉費用を負担させようというのはおかしい!数年前から組合員も一緒に丁寧に考えてきました。私たち一人ひとりの力は小さいけれど、皆で気持ちを合わせて大きな力へ!ご協力よろしくお願いします。

長い裁判を支える力に!

グリーンコープ生協みやざき 理事長 **日高 容子**

長い期間検討し、私たちは訴訟を行うことを選択しました。これから長期にわたり、裁判は行われることになります。このことは、私たちのめざす、原発のない社会に向けての第一歩となります。「原発のない社会をつくりたい」「原発の電気は使いたくない」という願いを強く持ち、一緒に応援していきましょう。



訴訟後の記者会見の様子(弁護士会館)

託送料金問題は私たち 大人が解決すべきこと

グリーンコープ生協とっとり 理事長 **小椋 あけみ**

私たちの暮らしに関わる大切なこと、子どもたちの未来に関わる大切なこと、それを今、きちんとみんなで考え、みんなで決めていきたいのです。今を生きる私たちの、大人の責任として、みなさんに聞きたいのです。子どもたちに自信をもって手渡せる社会にしていきましょう。ぜひみなさんの力を貸してください!

何よりも「いのち」が大切!

グリーンコープ生協(長崎) 理事長 **島田 美砂子**

チェルノブイリ原発事故以降、「いのちと原発は共存できない」と脱原発運動をすすめてきたグリーンコープ。電気事業を始めたことで、電気料金のカラクリを知りました。電気料金の中の電線使用料に原発費用が上乗せされているという事実を多くの国民に知ってほしい。そして、この問題を共に考え行動していきたい!



4年の月日かけた話し合いや 学習会が訴訟というカタチに!

グリーンコープ生協さが 理事長 **柳川 晶子**

電気料金の中身を正しく知り、託送料金について私たちがおかしいと思うこと、そして安心できる未来をつくるために声をあげていくことが大事です。私たち一人ひとりの思いを集めて、一緒に大きなうねりを起こしていましょう!!ぜひ「支える会」に賛同ください!

「自分も他人も世間も良し!」の 社会になるために

グリーンコープしがまる生協 理事長 **木村 和子**

原発を廃炉にする費用が莫大なので全国民に負担させることが経産省令で決まることは、「違法ではないのか?ちょっとおかしいよ!」と考えて訴訟に踏み切ったのが、私たちグリーンコープです。この裁判はきっと長い時間とたくさんの費用もかかります。皆さんの力が必要です。どうぞ賛助会員になって支えてください。



託送料金訴訟弁護団団長
小島延夫弁護士

訴訟を通して原発の 本当のコストを知りたい!

グリーンコープ生協くまもと
理事長 **高濱 千夏**

「原発の本当のコストは?」「原発の電気は安い?」。これまで脱原発運動をすすめていく中で様々な疑問や矛盾にぶつかってきました。日本に61基もある原発。そのための費用を電気契約者全てが知らないうちに支払っています。この訴訟をとおして、原発に関する「コスト」のことを多くの人に関心をもってほしいと思います。

原発のない未来を つくるために

グリーンコープやまぐち生協
理事長 **佐々木 春代**

未来はいつも希望に満ち溢れています。穏やかな毎日を迎え、健康で、笑顔の絶えない毎日を過ごしたい、子どもたちの未来にきれいな地球を残してあげたいなど、私たちは願い日々過ごしています。原発のない平和な未来をつくるのは、誰かではなく私たち一人ひとりで、す。「支える会」の会員になってみんなで原発のない社会を実現しましょう。

「原発はいらない!」という 思いをカタチに!

グリーンコープ生協おおさか
理事長 **篠原 佳奈子**

グリーンコープは、「いのちと原発は共存できない」という理念のもと脱原発運動をすすめてきました。原発を温存するためにあるとも言える託送料金に疑問を持ち、提訴に踏み切りました。「支える会」に集まった会費は、主に訴訟を支える費用、広報費用として活用します。ぜひ一緒に「原発はいらない!」という思いをカタチにしていましょう。

組合員の思いを結集し 大きな力に!

グリーンコープ生協おおい
理事長代行 **薬師寺 ひろみ**

3月11日に流した涙は忘れることができません。原発のない社会を実現するために、未来の子どもたちに負の遺産を残さないために、私たちにできることをみんなで考え取り組んでいましょう!「託送料金訴訟」は最後に残された手段です。ぜひ「託送料金訴訟を支える会」の賛助会員になってください。